

## 外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

## 1. 基本情報

令和4年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟市スポーツ協会		
所在地	新潟市中央区一番堀通町3-1		
代表者(職・氏名) (所属・職)	会長 中原 八一	電話番号	025-266-8250
	新潟市長	ホームページ	<a href="http://www.niigatashi-sports.or.jp/">http://www.niigatashi-sports.or.jp/</a>
市所管課	文化スポーツ部 スポーツ振興課	電子メール	<a href="mailto:info@niigatashi-sports.or.jp">info@niigatashi-sports.or.jp</a>
基本財産 (基本金)	500,500 千円	設立年月日	昭和42年9月1日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	500,500 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	新潟市及びその周辺の地域におけるスポーツの普及振興に関する事業を行い、市民の体力向上を図り、スポーツ精神を養うことに寄与することを目的とする。		
経営理念 経営方針	・加盟団体及び関係機関と連携を図りながら「市民総スポーツ」を推進し、健康で明るい都市づくり実現に寄与する。 ・このために「市民スポーツ活動の普及振興」「競技力向上」「組織・財政基盤の確立」を柱とした関係事業を推進していく。		

2. 主要事業

事業名①		講習会・研修会						
事業概要	(概要) 市民のスポーツ参加を促し、体力向上や健康増進を図るため、市民が気軽に取り組めるスポーツの講習会を開催する。 また、スポーツ指導者の資質向上を目的に、栄養学やコーチング学など専門知識を学べる研修会を実施する。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 働き世代や高齢者がスポーツに親しむことで、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸などに貢献することができる。 また、スポーツ指導者の資質向上により、安心・安全にスポーツを楽しめる環境を整備し、運動の習慣化や競技力向上に寄与する。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	300	730	930	630
				決算	39	266	566	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民スポーツ講習会参加者数  ※R1まで「主催事業：健康・体力づくりのつどい」の一部を掲載		R4	人	100				
		R3	人	100	0	コロナ禍で中止のため		
		R2	人	100	0	R2年度より、市民スポーツ講習会として独立した事業として実施予定で計画値を変更したが、コロナ禍により中止したため。		
		R1	人	2,200	1,260	雨天によりイベント全体の参加者数が減少したため。		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
指導者研修会参加者数		R4	人	150				
		R3	人	100	129	市と共催で実施回数を増やしたため（年1回→年2回）		
		R2	人	100	12	コロナ禍のためオンライン（Zoom）開催としたため、参加者の心理的・環境的要因で参加のハードルが高かったと考えられる。		
		R1	人	100	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止		
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
スポーツ体験会等推進事業実施種目数		R4	種目	10				
		R3	種目	10	7	コロナ禍で実施を見送る競技団体が多かったため		
		R2	-	5	5	初めての取り組みで、競技団体からの反応は鈍かったが、個別に相談して実施を呼びかけたため。		
		R1	-	-	-			

所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	開催回数を増やして、参加人数の増加に努めたことは評価できる。今後はコロナ禍でも開催できるような、安心・安全に参加できる仕組みを検討し、目標達成に努めてほしい。
---------------------	---

2. 主要事業

事業名②		主催（共催）事業						
事業概要	<p>(概要) 市民の健康増進や体力向上並びに競技力の向上やスポーツ人口の拡大を目的に、当協会および新潟市・加盟団体・各実行委員会が主催・共催となり、各種スポーツ大会・イベントを開催する。</p>							
	<p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) スポーツ大会・イベントの開催を契機に、市民が継続的にスポーツに親しむ環境を整備することで、スポーツへの参加や習慣化を促し、市民の健康増進や競技力向上に寄与する。</p>							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	3,713	3,704	3,704	4,204
				決算	3,478	1,551	2,423	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民総合体育祭 参加者数		R4	人	10,000				
		R3	人	8,000	8,789	感染対策を講じながら、屋外競技を中心に少しずつ開催できる競技団体が増えてきたため。		
		R2	人	19,000	3,905	コロナ禍で春季・秋季大会ともに中止した競技大会が多かったため。 春季 1種目（前年26種目） 秋季 21種目（前年28種目）		
		R1	人	19,000	17,000	秋季大会が天候不順や新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となったため。		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民サッカー大会 参加者数		R4	人	800				
		R3	人	1,200	770	感染症対策を行い開催したが、参加者の多くが社会人であり、コロナ禍で参加を見送るケースが多かったため。		
		R2	人	1,200	0	選手同士の接触を避けられないことから中止したため。		
		R1	人	1,200	1,260	—		
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民綱引き大会 参加者数		R4	人	500				
		R3	人	700	0	屋内競技で参加者や関係者の安全確保が難しく中止したため。		
		R2	人	700	0	屋内競技で参加者が多く、密が避けられないことから中止したため。		
		R1	人	700	780	—		

活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
市民ゴルフ大会 参加者数	R4	人	150		
	R3	人	150	131	他のゴルフコンペと日程が重なったため
	R2	人	150	0	コロナ禍でゴルフ場と協議して中止としたため
	R1	人	300	274	夏季・秋季大会の日程が近く、参加者が集まらなかったため
活動指標⑤	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
スポーツ体験 フェスタ 参加者数  ※R1年度までは「健康・体力づくりのつどい」事業	R4	人	1,000		
	R3	人	700	760	屋外のイベントであり、コロナも比較的収まっている時期に開催できたため。
	R2	人	1,000	600	コロナ禍のため、事前申込制として参加者数を制限したため。
	R1	人	2,600	1,700	雨天のため全体的に参加者数が減となったため。

**所管課の関わり及び  
主要事業にかかる評価**

一部事業は、コロナ禍でも対策を講じて目標を達成することができている。その他事業は次年度に向け、コロナ禍でのスポーツ離れにつながらないように取り組んでもらいたい。

2. 主要事業

事業名③		ジュニア強化事業						
事業概要	(概要) 市内ジュニア選手の競技水準向上のため、加盟団体と連携を図りながら将来有望な選手の育成に取り組む。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 子ども達が競技スポーツに取り組むことは、自己責任や克己心、コミュニケーション能力の育成など子どもの人格形成に大きく影響することから、明るく豊かな市の実現に寄与する。 また、当該事業で育成された選手がオリンピック等で活躍する姿は、市民に夢や感動、希望や勇気を与えるとともに、本市を国内外に広くアピールすることができる。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	7,900	9,700	10,000	10,000
				決算	9,700	8,840	10,000	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
ジュニア強化事業 実施団体数		R4	団体	27				
		R3	団体	27	27	3	コロナ禍であるが、計画通り実施できたため	
		R2	団体	27	27	3	コロナ禍で県外遠征ができないなど制約はあったが、全団体が実施したため。	
		R1	団体	27	27	—		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
にいがたスーパー ジュニア育成事業 実施団体数		R4	団体	3				
		R3	団体	3	3	3	コロナ禍であるが、計画通り実施できたため	
		R2	団体	3	3	3	コロナ禍で県外からの講師招聘ができないなど制約はあったが、全団体が実施したため。	
		R1	団体	3	3	—		
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
医科学サポート 事業実施団体数		R4	団体	3				
		R3	団体	3	3	3	コロナ禍であるが、計画通り実施できたため	
		R2	団体	3	3	3	講師が県内在住であることや県医科学センターを活用することで通常どおり事業が実施できたため。	
		R1	団体	3	3	—		
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価		本事業は本市の競技力向上に重要な事業であり、今後も継続した取り組みを続けてほしい。市としても施設利用の減免等により当事業を支えていく。						

2. 主要事業

<b>事業名④</b>		スポーツ少年団事業						
<b>事業概要</b>	<b>(概要)</b> スポーツによる青少年の健全育成を目的とする日本スポーツ少年団の普及・育成のため、登録手続きをはじめ、各種大会・イベント等を開催する。							
	<b>(市政へどのように寄与・貢献するのか)</b> スポーツ少年団は、子ども達が地域社会で幅広いスポーツ活動を行う集団として活動している。核家族化や地域の間人関係が希薄になるなかで、様々な他者との関わり、子どもの存在と頑張りを認める団体を育てることは、運動の習慣化や体力向上はもとより、子どもたちの健全育成に寄与する。							
<b>事業区分</b>	<b>主体区分</b>	<b>収支区分</b>	<b>単位</b>	<small>予算・決算</small>	<b>令和元年度</b>	<b>令和2年度</b>	<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	110	170	440	772
				決算	17	8	214	-
<b>活動指標①</b>		<b>年度</b>	<b>単位</b>	<b>計画</b>	<b>実績</b>	<b>達成・未達成の理由</b>		
指導者及び団員数  団員数	R4	人	1,900					
	R3	人	-		1,806	コロナ禍で大会が中止となったことから、当該年度の登録を見送る団体があったため。		
	R2	人	-		1,699	コロナ禍で大会が中止となったことから、当該年度の登録を見送る団体があったため。		
	R1	人	-		2,036	-		
<b>活動指標②</b>		<b>年度</b>	<b>単位</b>	<b>計画</b>	<b>実績</b>	<b>達成・未達成の理由</b>		
指導者数 (有資格者)  ※令和元年度までは無資格者を含む	R4	人	330					
	R3	人	-		291	コロナ禍で大会が中止となったことから、当該年度の登録を見送る団体があったため。		
	R2	人	-		437	指導者制度の改定により、指導者として登録できるのは、有資格者のみとなったため。		
	R1	人	-		540			
<b>活動指標③</b>		<b>年度</b>	<b>単位</b>	<b>計画</b>	<b>実績</b>	<b>達成・未達成の理由</b>		
スポーツ少年団交流大会等参加人数 (本会主催分)  ※延べ参加人数	R4		600					
	R3		-		560	2大会(野球・新潟地区、バレーボール・下越地区)を開催したため。		
	R2		-		-			
	R1		-		-			
<b>所管課の関わり及び主要事業にかかる評価</b>		新たな取り組みとして交流大会を開催し、少年団同士の相互交流の場を設けたことは、少年団加入メリットとしても評価でき、今後の会員数増加につなげてほしい。						

2. 主要事業

事業名⑤		助成事業								
事業概要	(概要) 各競技スポーツの活性化と競技力向上を図るため、本会加盟団体が主催（または主管）する新設の大会について、最長3年を目途に経費の一部を助成する。									
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 大会の定着・促進が図られ、参加者の健康増進・体力向上はもとより、市民の交流や地域の活性化に寄与する。									
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	120	50	50	50		
				決算	20	0	0	-		
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由				
大会参加者数		R4	人	400						
		R3	人	400		0	申請なしのため			
		R2	人	400		0	申請なしのため			
		R1	人	400		400	(公財)新潟観光コンベンション協会のMICE補助金による助成に切り替えているなかで、事業規模を見直したため。			
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由				
		R4	件							
		R3	件							
		R2	件							
		R1	件							
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由				
		R4								
		R3								
		R2								
		R1								

所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	コロナ禍も影響しているかもしれないが、2年連続の「申請なし」であることから、助成の要件や各競技団体への周知を含めて検討してほしい。
---------------------	---

2. 主要事業

事業名⑥		表彰						
事業概要	(概要) スポーツに関する功績をたたえ、本市のさらなるスポーツ振興と競技力向上に資することを目的に、顕著な成績をおさめた高校生以下の競技者対象とした「ジュニア優秀競技者表彰」、年間で最も活躍した個人または団体を表彰する「スポーツグランプリ」、長年に渡り賛助会員として本会にご支援・ご協力いただいた方への「賛助会員表彰」を実施している。 (市政へどのように寄与・貢献するのか) ジュニア選手らの競技力向上に寄与するほか、市民の功績をPRすることで、郷土愛などシビックプライドの醸成に繋がる。							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	500	550	550	550
				決算	529	21	423	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
ジュニア表彰 受賞者数  ※市内在住・在学中、 全国大会3位以上または 日本代表	R4	人	40					
	R3	人	40		31	小学生の全国大会などがコロナ禍で中止となったため		
	R2	人	30		2	コロナ禍で全国高校総体をはじめ、多くの全国大会・国際大会が中止となったため		
	R1	人	90		36	団体種目の入賞が少なかったため		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R4							
	R3							
	R2							
	R1							
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R4							
	R3							
	R2							
	R1							

所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	全国大会等の開催が中止等にならずに、実施できるようになってきたため、実績が増加している。引き続き事業目的達成のために取り組みを推進してほしい。
---------------------	---

2. 主要事業

事業名⑦		国際交流事業						
事業概要	(概要) 諸外国との友好親善や競技力向上を目的に、国際交流大会を市と共催で開催するほか、加盟団体が実施する国際交流大会・イベントに対して支援を行う。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) スポーツを通じた国際交流は、スポーツの普及・発展はもとより、諸外国との相互理解と友好親善に寄与する。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	300	300	300	100
				決算	17	0	0	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
支援件数		R4	件	2				
		R3	件	2	0	コロナ禍で中止のため		
		R2	件	2	0	東京2020オリンピック・パラリンピックが延期され、市内における海外選手団の事前合宿が中止されたため。		
		R1	件	3	2	予定していたアーチェリーの交流会が1件中止となったため。		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
		R4						
		R3						
		R12						
		R1						
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
		R4						
		R3						
		R12						
		R1						

所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	コロナ禍では対面の実施は当面難しい状況だが、今後はオンライン等も検討して実現可能な事業に尽力してもらいたい。
---------------------	--

2. 主要事業

事業名⑧		広報活動						
事業概要	(概要) 市民のスポーツ参加を促すため、本市のスポーツトピックスや本会の活動内容についてホームページや広報誌を用いて情報発信を行っている。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) スポーツに対する興味・関心を向上を図ることで、市民のスポーツ参加を促進し、スポーツ参画人口の拡大に寄与する。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	470	590	710	1,210
				決算	472	605	671	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
ホームページ アクセス数		R4	件	30,000				
		R3	件	25,000	28,230	加盟団体やスポーツ少年団への通知をホームページを起点とするよう切り替えたため		
		R2	件	25,000	19,891	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となったため。		
		R1	件	25,000	21,425	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となったため。		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
機関紙「躍動」 発行部数		R4	部	3,000				
		R3	部	2,500	3,000	新たに公民館等への設置・配布を行ったため		
		R2	部	-	2,500	紙面の全面リニューアルにより、PRのため設置・配布場所を増やしたため。		
		R1	部	-	2,200			
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
		R4						
		R3						
		R2						
		R1						

所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	広報の手法の見直しを行い、目標を上回って達成することができている。引き続き活動の周知広報に努めてほしい。
-------------------------	--

2. 主要事業

事業名⑨		区スポーツ協会支援事業						
事業概要	(概要) 地域に根差したスポーツ振興を推進するため、各区スポーツ協会の運営に要する経費について事業内容に適した補助金を交付する。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 区スポーツ協会は、地域におけるスポーツ振興の中核組織であり、区民の健康増進・体力向上のほか、スポーツの裾野の拡大に寄与している。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	4,340	4,340	4,340	4,340
				決算	4,340	4,340	4,340	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
大会等参加者数		R4	人	20,000				
		R3	人	30,000	15,537	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業が中止となったため。		
		R2	人	40,000	13,803	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業が中止となったため。		
		R1	人	40,000	38,000	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業が中止となったため。		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
		R4						
		R3						
		R2						
		R1						
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
		R4						
		R3						
		R2						
		R1						
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		各区スポーツ協会を通じて地域に密着したスポーツ振興に寄与した。						

2. 主要事業

事業名⑩		後援会業務受託事業（収益事業）						
事業概要	<p>(概要) プロ・アマ問わず本市出身のトップアスリートの後援会事務を受託し、その選手を活用した事業を展開することにより、市民に夢や感動を与え、本市のスポーツ振興における「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の推進を図る。 なお、事業実施における利益は、公益目的事業に活用する。</p> <p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) 本市出身の選手を活用した事業を展開し、市民・県民全体で応援することにより、本市のスポーツ振興における「みるスポーツ」「支える」スポーツの推進を図ることができる。</p>							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収益事業	自主事業	収入額	千円	予算	-	1,200	1,200	1,200
				決算	-	267	800	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
豊山新潟後援会 会員数 【個人・家族】	R4	人	300					
	R3	人	300	218	コロナ禍のため交流会等の事業活動ができず後援会のPR不足となっているため			
	R2	人	300	208	コロナ禍のため発足が12月に遅れたため			
	R1	人	-	-				
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
豊山新潟後援会 会員数 【法人・団体】	R4	件	50					
	R3	件	50	31	コロナ禍のため交流会等の事業活動ができず後援会のPR不足となっているため			
	R2	件	50	31	コロナ禍のため発足が12月に遅れたため			
	R1	件	-	-				
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
収益事業による利益 (公益事業会計 への繰入額)	R4	千円	282					
	R3	千円	189	156	会員数が伸び悩み、事業受託収入が見込みより少なかったため。			
	R2	千円	195	-59	後援会発足の遅れにより、事務委託料が月割計算となり、人件費等のコストが収入を上回ったため。			
	R1	千円	-	-				

所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	事業が黒字化したことは評価できる。今後は会員数の増加を目指し、自主財源の確保に努めてほしい。
-------------------------	--

## 3. 組織等の状況

## (1) 役員数等の状況

令和4年7月1日 現在 (単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>役員数</b>	28	28	28	27
<b>常勤</b>	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB	1	1	1	1
プロパー役員				
他団体からの派遣				
<b>非常勤</b>	27	27	27	26
市兼任	5	5	5	4
市職員OB	1	1	1	1
他団体兼任				
その他	21	21	21	21
<b>職員数</b>	4	5	5	5
<b>常勤</b>	1	2	2	2
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	1	2	2	2
他団体からの派遣				
<b>非常勤</b>	3	3	3	3
市兼任	1			
市職員OB		1	1	1
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	2	2	2	2
<b>見直し等の取組み</b>		市方針により市兼任を協会職員に切り替えたほか、プロパー職員1名を採用		

## (2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

令和4年7月1日 現在 (単位:人)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>職員の状況</b>	管理職				
	一般職	3	5	5	5
	合計	3	5	5	5
<b>年齢構成</b>	20代以下	1			
	30代	1	2	2	2
	40代				
	50代		1	1	1
	60代以上	1	2	2	2
	合計	3	5	5	5



## 4. 財務の状況

## (1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般正味財産増減の部	経常収益	39,380	47,769	47,426
	基本財産運用益	6,533	6,533	6,296
	特定資産運用益			
	受取会費	1,987	2,115	1,972
	事業収益	0	267	894
	自主事業収益			
	受託事業収益		267	894
	受取補助金等・負担金	28,908	37,927	37,181
	その他経常収益	1,952	927	1,083
	経常費用	38,448	42,101	47,210
	事業費	30,965	34,139	39,216
	公益目的事業費	30,965	33,813	38,572
	収益目的事業費		326	644
	(自主事業費)			
	(受託事業費)		326	
	法人会計			
	管理費	7,483	7,962	7,994
	評価損益等調整前当期経常増減額	932	5,668	216
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			0
	特定資産評価損益等			0
投資有価証券評価損益等			0	
当期経常増減額	932	5,668	216	
経常外収益			0	
経常外費用			0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	932	5,668	216	
一般正味財産期首残高	7,499	8,431	14,099	
一般正味財産期末残高	8,431	14,099	14,315	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			0
	その他			0
	基本財産評価損益			0
	特定財産評価損益			0
	一般正味財産への振替額			0
	当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	500,500	500,500	500,500	
指定正味財産期末残高	500,500	500,500	500,500	
基金増減の部	基金受入額			0
	基金返還額			0
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			0
	基金期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	508,931	514,599	514,815	

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	14,159	20,372	22,921
役員分	3,682	3,791	3,819
職員分	10,477	16,581	19,102

## (2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>資産の部合計</b>	509,235	515,340	515,269
流動資産	8,735	14,840	14,769
現金預金	8,093	14,835	14,769
未収金	612		
有価証券			
その他流動資産	30	5	
固定資産	500,500	500,500	500,500
基本財産	500,500	500,500	500,500
特定資産			
その他固定資産	0	0	0
有形固定資産			
無形固定資産			
その他投資等			
<b>負債の部合計</b>	304	741	454
流動負債	304	741	454
短期借入金			
その他流動負債	304	741	454
固定負債	0	0	0
長期借入金			
その他固定負債			
<b>正味財産の部合計</b>	508,931	514,599	514,815
基金	0	0	0
(基本財産充当額)			
(特定資産充当額)			
指定正味財産	500,500	500,500	500,500
うち補助金			
(基本財産充当額)	500,500	500,500	500,500
(特定資産充当額)			
一般正味財産	8,431	14,099	14,315
代替基金			
その他一般正味財産	8,431	14,099	14,315
(基本財産充当額)			
(特定資産充当額)			
<b>負債の部及び正味財産の部合計</b>	509,235	515,340	515,269

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市財政支出等の合計	28,296	37,502	37,031
補助金	28,296	37,502	37,031
事業費補助金	9,128	9,128	8,439
運営費補助金	19,168	28,374	28,592
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	0	0	0
内 随意契約額※			
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）			
業務委託（その他）			
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

## (市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

当該協会の主催事業は、公共性の高い事業が多く、補助金なしでは実施が困難であることから、本市が策定するスポーツ推進計画における「健康スポーツ」「競技スポーツ」の推進・発展のためにも財政支出が必要不可欠である。

## (4) 遊休財産の状況

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
純資産	508,931	514,599	514,815
公益目的保有財産	▲ 500,500	▲ 500,500	▲ 500,500
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲ 0
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲ 0
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲ 0
拋出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲ 0
遊休財産額	8,431	14,099	14,315

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常損益		932 千円	5,668 千円	216 千円
自己資本比率	純資産	99.9 %	99.9 %	99.9 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	2873.4 %	2002.7 %	3253.1 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	98.3 %	97.3 %	97.2 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産	8,431 千円	14,099 千円	14,315 千円
	－資本金（基本金）			
公益目的事業比率	公益目的事業費	80.5 %	80.3 %	81.7 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	3.67	2.40	2.69
	遊休財産額			
資金運用				
基本財産としての 有価証券の保有	● 有	→	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。○ ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。○ ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。○ ④ 元本割れのリスクはない。○	○
	○ 無			

（2）団体の自立性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	71.9 %	78.5 %	78.1 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	48.7 %	59.4 %	60.3 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	-	-	-
	市委託料			

（3）経営の効率性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	0 千円	53 千円	179 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	233 千円	1,134 千円	43 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	19.5 %	18.9 %	16.9 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	1,871 千円	1,592 千円	1,599 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	36.0 %	42.6 %	48.3 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	26.0 %	18.6 %	16.7 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
●	有 計画名称 [ 将来構想 ] 計画期間 平成27年度 ~ 34年度
概要・数値目標	
(公財)新潟市スポーツ協会(当時:体育協会)の更なる発展を目指し「夢・理想・使命」を掲げ、今後10年を展望した「将来構想」を策定した。4つの重点目標(①選手強化 ②スポーツの普及振興 ③組織基盤の確立 ④体協会館の設置検討)の実現を目指して、事業を展開する。	
●	無

② 経理の適正化の取組み	
専門家による監事・監査役就任	専門家による会計指導
有	● 有 就任時期 年度~ 依頼時期 平成24年度~ 依頼先職種 [ ] 依頼先職種 [ 税理士法人 ]
●	無

③ 事務処理改善の取組み	
●	有 取組内容 平成23年度~ [ 公益法人の会計基準に準じた事務処理の改善、実施 ]
	無

④ 人材育成の取組み	
●	有 取組内容 平成28年度~ [ 職員に対して、日本スポーツ少年団認定員養成講習会など業務に関する資格を取得させた。 ]
	無

⑤ 情報公開に関する規程の整備状況			
●	有 策定時期 平成13年度~ 規定名称 [ (公財)新潟市スポーツ協会情報公開規程 ]	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成20年度~
	無 未整備理由 [ ]		● 事業内容 平成20年度~
			● 役員名簿 平成20年度~
			● 役員報酬 平成24年度~
			● 事業報告 平成20年度~
			● 正味財産増減計算書 平成24年度~
			● 貸借対照表 平成24年度~
			● 事業計画書 平成20年度~
			● 予算概要 平成20年度~

改善対応区分

- A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
- B:改善の取組の効果が始まっている
- C:改善の取組に着手
- D:改善の取組に向けて検討中
- E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		市主催事業の受託可能性も含め、収益事業を検討し、自主財源確保を目指して欲しい。					
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	収益事業として後援会業務受託事業を令和2年度からスタートしたほか、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて設置されていた新潟駅南口のJOCオリンピック支援自販機について、閉会を機に撤去される予定であったが、担当課と協議して令和6年度末まで設置期間を延長することができた。					
	取り組みによる成果	これらの取り組みにより、自主財源として令和3年度は約1,452千円を確保することができ、公益目的事業（ジュニア強化事業）に活用することができた。					
	改善・対応区分	A	●	B	C	D	E
	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	豊山新潟後援会費総額	計画	4,000千円	4,000千円	3,000千円	3,500千円	
		実績	2,700千円	2,795千円			
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 目標とする4,000千円には達していない。また、新規入会が少ないため会員増による受託収益の増加は見込めない。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 新規入会者の獲得				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 県内だけでなく全国にいる相撲ファンに向けて、ホームページで情報発信をするとともに、SNSの活用についても検討する。					
	オリンピック支援自販機の寄付金収入	計画	1,000千円	800千円	720千円	720千円	
実績		693千円	652千円				
進捗状況		【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍で自販機の売り上げが減り、ここ数年は当協会への寄付金も減少傾向である。					
今後の課題		【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 利用者の増加					
課題への対応	【今後の課題への対応】 次のパリ2024オリンピック・パラリンピックにあわせて、オリンピック支援自販機をあらためてPRし、利用を促進する。						

改善指示事項		運営に必要となる自主財源の額を明確化し、年度ごとに目標額とその確保に向けた手法を検討する必要がある。					
改善のために取り組んだ内容		市補助金減額に伴う令和4年度からの基本財産取り崩しに向けて、財務委員会を開催し、資産寿命のシミュレーションを行い、既存事業の実施に必要な自主財源額の算定を行った。					
取り組みによる成果		シミュレーションの結果を考慮したうえで、従来より利回りの高い債券を購入し、基本財産運用益の確保に努めた。					
改善・対応区分		A	B	C ●	D	E	
実施事項		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
改善に向けた取り組み 評価指標	自主財源額（市補助金を除く経常収益）	計画	12,130千円	10,776千円	11,395千円	目標額の検討	
		実績	10,267千円	10,395千円			
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍で賛助会費は減少したが、後援会事務受託事業費や各種助成金等の活用により、前年度に比べて自主財源を確保することができた。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 コロナの影響が長引いており、今後も賛助会費やオリンピック支援自販機寄付金収入への影響が懸念される。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 コロナの影響は続くと考えられるため、各種助成金の活用や受託事業の拡大についても検討していく。				
	自主財源比率	計画	-	-	目標額及び手法の検討	計画の実施	
		実績	-	目標額の検討			
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 既存事業の実施に必要な自主財源の額の検討を行った。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 今後、発展的な事業を実施するためには今まで以上に財源が必要となる。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 令和4年度に策定する第二期将来構想のなかで、今後の事業展開を協議しながら、自主財源の目標額や確保の手法についても併せて検討を進める。				

改善指示事項		新潟市開発公社が実施する事業と目的や対象が重複しないよう留意する必要がある。				
改善のために取り組んだ内容		令和3年度の市民スポーツ講習会については、運動が苦手な子どもにターゲットを絞り込んだ「アクティブ チャイルド プログラム（日本スポーツ協会開発）」を予定していたが、コロナ禍で中止となった。				
取り組みによる成果		既存事業の目的や対象を再検討することで、参加者にとってもより価値のある事業が展開できたと思われる。				
改善・対応区分		A	B	C ●	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	計画	-	-	調査	見直し	
	実績	-	検討			
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 当協会の「市民スポーツ講習会」と市開発公社の「スポーツ教室」における目的や対象の差異について、具体的には調査・検討できていない。				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 双方の事業内容を調査・検討したうえで、当協会の事業展開の検討が必要。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 令和4年度に策定する第二期将来構想のなかで、今後の事業展開を協議しながら、公社との事業の棲み分けについて検討する。				

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

<b>財務の健全性</b>	<p>従来からの課題であった収益事業をスタートしたほか、助成金の活用やオリンピック支援自販機寄付金の拡充により、着実に自主財源確保に取り組んでいる。</p> <p>市の方針により、令和4年度から市補助金(事業費相当分)が停止されることから、今後は各種事業のコスト見直しと新たな自主財源の確保について検討していく。</p>
<b>団体の自立性</b>	<p>平成28年度と令和2年度にプロパー職員を計2名採用することができ、組織の自立化に向けて一歩前進した。</p> <p>今後は、優れた人材を育成するために、スポーツ指導に関する資格の取得を促進するなど、専門性を生かした自主事業が展開できるよう検討していく。</p>
<b>経営の効率性・適正性</b>	<p>平成28年度から大会助成金の見直しや各区スポーツ協会補助金の平準化に着手している。</p> <p>また、イベント・大会へのスポンサー探しなど、コロナ禍で厳しい状況ではあるが、地元企業への協賛依頼や賛助会員の拡大に努める。</p>
<b>その他</b>	<p>夢・理想・使命を掲げて策定した将来構想の最重点目標である、本市からオリンピック選手輩出に向けた取り組みとして平成28年度より実施している「にいがたスーパージュニア育成事業」を中心に、医科学サポート事業と連帯を図りながらジュニア選手の育成・強化を積極的に推進する。</p>

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

<p>長年課題であったプロパー職員の採用・増員のほか、自主財源確保に向けた収益事業の開始など組織基盤の強化に向けた取り組みを行い、その成果が少しずつ表れている。</p> <p>今後も、将来構想の実現に向けて、その核となる「市民スポーツ活動の普及・振興」「競技水準の向上」「組織・財政基盤の確立」の3つを柱として、公益目的事業を積極的に推進していく。</p>
--

【所管課による評価】

<p>プロパー職員の採用・増員により職員体制が強化されたことを受け、自主財源確保に向けた取り組みを開始することができている。次年度以降は更なる財源確保に向けた取り組みを期待したい。</p> <p>公益目的事業について、今後とも協会の目的達成や本市のスポーツ振興のための取り組みを着実に実施してほしい。</p>
--